

泊発電所3号炉 ヒアリングコメント回答リスト

(有効性評価 7.4.1 崩壊熱除去機能喪失)

泊発電所3号炉審査資料	
資料番号	資料1-3
提出年月日	令和5年4月20日

ID	No	コメント内容	ヒアリング日	対応状況*	回答完了日	回答概要	資料反映箇所	積み残し事項の回答予定時期
230331-38	1	比較表添7.4.1.15-3ページ) 原子炉停止後の時間に関して、定検実績から72時間を選択した理由(時間の積み上げ)について説明すること。	R5.3.31	本日回答		原子炉停止後の時間72時間の根拠を定検実績を用いて追記しました。	資料1-1『泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 7.4.1 崩壊熱除去機能喪失 (SAE741 r.6.0)』 P.添7.4.1.2-1,2 資料1-2『泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 比較表 7.4.1 崩壊熱除去機能喪失 (SAE741-9 r.6.0)』 P.添7.4.1.2-1,2	
230331-39	2	比較表1ページ) 「事故シーケンスグループの特徴」において、大飯、高浜に余熱除去系の故障「等」により、の等の理由を確認し説明すること。	R5.3.31	本日回答		審査ガイドの重要事故シーケンスの例に「運転中のRHR 又は原子炉補機冷却水系(原子炉補機冷却海水系を含む。)の故障によって、崩壊熱除去機能が喪失し、燃料損傷に至る。」との記載があり、ガイドに従いRHRの故障に限定した記載にしているものと考えますが、BWRのガイドも同様の記載であり、原子炉補機冷却水系の故障を想定すると「全交流動力電源喪失」と同様の対策となり「崩壊熱除去機能喪失」の有効性評価を行えないため、女川同様、「等」を記載しないこととします。	—	
230331-40	3	比較表41ページ) 炉心上端ボイド率の推移に関して、最大値について定量的に説明すること。	R5.3.31	本日回答		炉心上端ボイド率の最大値をグラフの中に明記しました。	資料1-1『泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 7.4.1 崩壊熱除去機能喪失 (SAE741 r.6.0)』 P.7.4.1-27 資料1-2『泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 比較表 7.4.1 崩壊熱除去機能喪失 (SAE741-9 r.6.0)』 P.41	
230331-41	4	比較表7.4.1.1-1ページ) CV内作業員の退避に関して、大飯は「機械的に管理」、泊は「名簿で管理」としていることについて、他社の状況も確認の上相違理由欄を充実させ説明すること。	R5.3.31	本日回答		他社の状況を確認し泊と同様の記載のプラントは確認できなかったが、CV退避時には常駐する出入管理員が全作業員の退避完了を再確認する運用は大飯と同様である旨、相違理由に追記しました。	資料1-2『泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 比較表 7.4.1 崩壊熱除去機能喪失 (SAE741-9 r.6.0)』 P.添7.4.1.1-1	

*: 検討状況・方針等のみをご説明の場合は、「一部説明」という用語で識別する。